



定期テストに向けて～「これまでの家庭学習+30分」～

今年度の市中体夏季大会は水泳競技を残すのみとなりました。明後日実施される水泳競技に参加する選手の皆さんは、自己記録の更新を目指して自身の限界に挑んでください。

さて、来週からは今年度第1回目の定期テストが始まります。特に1年生の皆さんにとっては、初めてのテストになるので、緊張している人もいるのではないのでしょうか。

一昨年度から「これまでの家庭学習+30分」の取組を呼び掛けています。特に今日からはテスト1週間前になります。これまで、ほとんど家庭学習をしていなかった人は、30分で構いません。1時間や2時間以上学習をしていた人は、30分だけ伸ばしてみてください。例えば、その30分で「やればできる」のプリントを繰り返し解いてみる。テスト範囲の英単語や漢字を覚える。あるいは数学の計算問題を繰り返し解いてみるなど、30分あればできることがたくさんあります。

「塵も積もれば山となる」です。その30分が積み重なって、定期テストの結果につながるとともに学力の向上にもつながってきます。ご家庭においてもお子様の家庭学習の習慣化について、ぜひお力添えをお願いします。

「やればできる」プリントの取組について

本校では、定期テストにおいて各教科で出題する約10点分(1割程度)の問題を、事前に生徒へ渡して学習させる取組を実施しています。家庭学習で何をしていたか分からない生徒や勉強が苦手な生徒に学習意欲を持たせ、そのプリントを勉強すればするだけ確実に成果となって返ってくるという達成感を抱かせるためです。教科担当は、単元等で最低限これだけは理解しておいてほしいという問題を精選しています。生徒の皆さん、やればできる!

校長のひと言⑦

テスト前なので、数字の話をしただけ。生徒のみなさんは、「1000円弱」と聞いて、どのくらいの金額を思い浮かべますか? 1000円より少し多い金額? それとも1000円に少し足りない金額? 答えは・・・「1000円に少し足りない金額」です。

NHK放送文化研究所は昨年6月に「『7割弱』『7割強』は何%から何%までだと思うか」を聞く調査を行いました。「7割弱」は65%～69%、「7割強」は70%～75%が一番多かった答えです。ただし20代では7割弱を「70%から」とする回答が19%もあったそうです。研究所の担当者は、若い人には「弱」を「少し多い」と解釈している人が結構いるようだと話されています。「9時10分前」についても、8時50分が一般的ですが、若い人の中には、9時8、9分頃と捉える人もいるそうです。つまり「9時10分の少し前」。

世代間ギャップを感じるとともに、こちらの常識が常識として伝わらないこともあるということ再認識させられました。